

■特長

- ・太陽から放射される近赤外線領域を効果的に反射し、塗膜表面温度上昇を抑制、室内温度上昇を緩和します。
- ・塗膜硬化後に表面が親水化することにより低汚染性を発揮、そのため遮熱効果の低下を防ぎ、長期間遮熱性を維持します。
- ・4フツ化構造のフッ素樹脂採用により、紫外線（UV）や風雨、錆などの劣化因子から塗装面を強力にブロックします。
- ・鉛・クロムなどの有害な重金属を原料に使用せず、またトルエン・キシレン含有量が少ない弱溶剤タイプの環境配慮型塗料です。
- ・非常にマイルドなおいでです。
- ・防藻・防カビ剤の配合により、藻やカビの発生を抑制し、清潔な住環境を維持します。
- ※反射性能については、色により日射反射率に差異がありますのでご留意願います。

■被塗物素材

- ・コンクリート系屋根・屋根材（セメント瓦、スレート瓦）、住宅用化粧スレート（新屋根材）、金属系屋根（鋼板屋根、トタン屋根）などの新設および塗り替え
- ※アスファルトシングル材、陶器瓦、洋風コンクリート瓦（モニエル瓦、スカンジア瓦）には適しません。

■製品要綱

種類・色	標準色（18色）		
主な用途	戸建住宅、工場・倉庫など屋根面の新設及び塗り替え		
容量	主剤：13.5kg、硬化剤：1.5kg		
配合比	主剤：硬化剤＝9：1		
標準塗付量(kg/m ² ・回)	0.11～0.13		
標準塗付面積(m ² /15kgセット・回)	115～135		
希釈剤	塗料用シンナー		
希釈割合 (重量%)	ハケ・ローラー	5～15	
	エアレス	10～20	
標準塗装回数	2		
可使時間	(5℃) 18時間	(23℃) 7時間	(30℃) 4時間
指触乾燥時間	(5℃) 50分	(23℃) 25分	(30℃) 15分
塗り重ね可能時間	(5℃) 4時間以上7日以内	(23℃) 2時間以上7日以内	(30℃) 1.5時間以上3日以内
光沢	つや有り		
特化則該当物質	主剤：該当物質なし 硬化剤：該当物質なし		
有機溶剤表示	主剤：第3種有機溶剤等 硬化剤：第3種有機溶剤等		
消防法による危険物区分	主剤：第4類 第二石油類（非水溶性） 硬化剤：第4類 第二石油類（非水溶性）		
材工価格（2021年6月現在）	¥3,400-/m ² （当該製品のみ・300m ² 以上）		

■使用上の注意事項

- ・塗料はよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- ・塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- ・塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- ・塗装中および塗装後24時間は5℃以下にならない場所で使用してください。また湿度が85%以上の場合は塗装を避けてください。
- ・絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- ・降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装を避けてください。
- ・新屋根材などで軽度の不陸がある場合は、下地調整材としてロック水性プロテクトルーフ サフを使用してください。
- ・素地が濡れている時は塗装を避け、乾いてから塗ってください。また直射日光などで極端に熱くなっている時は、少し冷やしてから塗装してください。
- ・乾燥過程で霜、夜露などの影響を受ける時間帯や、昼と夜の温度差が大きい時期は、時間を考慮して 塗装を行ってください。
- ・金属面の塗装にはシャネツロックプライマーを下塗りしてから塗装してください。
- ・セメント系素材の塗装にはシャネツロックシーラーを下塗りしてから塗装してください。
- ・希釈には必ず塗料用シンナーを使用してください。また必要以上に希釈するとたれや色分かれの原因になります。
- ・塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- ・硬化剤は必ず専用硬化剤を使用してください。他の硬化剤を使用すると仕上がり外観、塗膜性能に悪影響を及ぼします。
- ・硬化剤を配合した塗料は、時間の経過と共に増粘・固化して使用できなくなります。配合した塗料は可使時間内に使い切ってください。
- ・夏場の高温時は硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに実施してください。
- ・標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- ・取扱いの際は製品容器の注意書き、製品カタログおよび安全データシート（SDS）をよく読み、注意事項を厳守してください。

本内容は予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。